

数学総合演習		講義	講師 竹内 芳衛	
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の教養選択科目	科目ナンバリング	22200122	

1. 授業のねらい・概要

基礎的な数学の知識を学ぶ。

2. 授業の進め方

演習形式。(テキストによる学習)

3. 授業計画

1. 整式の加法・減法, 単項式の積	9. 集合の要素の個数, 命題, 逆・裏・対偶
2. 整式の積, 展開公式, 因数分解	10. 等式の証明, 不等式の証明
3. 因数分解, 整式の除法	11. 2次関数のグラフ, 2次関数の定義域と値域
4. 最大公約数・最小公倍数, 分数式	12. 奇関数と偶関数, 分数方程式, 無理方程式
5. 繁分数式, 平方根, 有理化, 絶対値	13. グラフの平行移動, 累乗根, 指数法則
6. 連立1次方程式, 2次方程式	14. 三角比の計算, 直線の方程式
7. 恒等式, 剰余の定理, 因数定理	15. まとめ
8. 2次不等式, 3次不等式, 連立不等式	

4. 準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

授業前に教科書の該当する部分に目を通しておくこと(各回1時間程度)。

5. 課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法

標準解答若しくは解説を提示し, 又は本人解答を返却する。

6. 授業における学修の到達目標

- 教科書にある数学の知識が理解できるようになる。
- 教科書にある数学の問題が解けるようになる。

7. 成績評価の方法・基準

定期試験+課題(60~80%)と平素の活動状況(20~40%)で評価する。

8. テキスト・参考文献

TAMS. ドリルと演習シリーズ 基礎数学, 電気書院, 2009。

9. 受講上の留意事項

毎回, 教科書を忘れないこと。(必ず新しい教科書を購入すること)

「学修時間が60.0未満」と担当教員が判断した履修者は, 定期試験を受けられない。

出席1回につき学修時間6.0を算入する。ただし, 算入する学修時間を3.0~6.0とすることがある。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。